

## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 大

上場会社名 イマジニア株式会社

コード番号 4644 URL <http://www.imagineer.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO

(氏名) 神藏 孝之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO

(氏名) 中根 昌幸

TEL 03-3343-8911

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,060	△28.7	144	△68.1	145	△66.5	101	△65.9
23年3月期第1四半期	1,487	3.5	451	13.7	433	3.1	298	22.4

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 102百万円 (△62.8%) 23年3月期第1四半期 275百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	10.51	—
23年3月期第1四半期	30.05	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	8,213	—	7,546	—	—	91.8
23年3月期	8,557	—	7,577	—	—	88.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 7,543百万円 23年3月期 7,575百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	10.00	—	12.00	22.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,223	△14.6	296	△52.1	296	△50.1	182	△51.1	18.82
通期	4,388	△9.5	624	△19.6	624	△9.4	396	△4.3	40.96

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	10,649,000 株	23年3月期	10,649,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	1,003,949 株	23年3月期	967,549 株
----------	-------------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	9,666,351 株	23年3月期1Q	9,926,580 株
----------	-------------	----------	-------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は[添付資料]2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想に関する定性的情報を参照してください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) セグメント情報等 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(6) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の国内経済は、生産及び輸出で上向きの動きが見られるものの、東日本大震災の影響による電力供給及び原子力災害の影響等の下振れ懸念もあり厳しい状態にあります。

当社グループの主力事業であるモバイルコンテンツ事業を取り巻く環境は、電気通信事業者協会の調べにおける平成23年6月末現在では、携帯電話の契約数は121百万台となっており、その内、第三代携帯電話の契約数は120百万台と全体の契約数の99.0%を占めております。また、スマートフォンも普及が進み、株式会社MM総研の調べにおける平成23年3月末現在では9百万台となっております。

このような環境下におきまして、当社グループは中期的な経営の方向性を「新たな成長へのチャレンジ」と定め、中長期的な収益モデルの育成を実行するフェーズとしております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,060,222千円（前年同期比28.7%減）、営業利益144,330千円（前年同期比68.1%減）、経常利益145,153千円（前年同期比66.5%減）、四半期純利益101,594千円（前年同期比65.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (モバイルコンテンツ事業)

モバイルコンテンツ事業におきましては、スマートフォン向けコンテンツの提供の強化を図るため、月額課金サービスの提供やアプリでは顧客の人気の高いゲームや長期間での販売が見込める電子書籍を中心に厳選されたコンテンツの提供や海外での販売などに注力しております。

また、フィーチャーフォン向けの有料サイトについても会員数を維持できるよう取り組んでおります。

上記の結果、売上高772,517千円（前年同期比18.3%減）、営業利益235,883千円（前年同期比34.0%減）となりました。

#### (モバイルコマース事業)

モバイルコマース事業におきましては、モバイルサイト上でのキャラクター限定商品の増加による売上高の拡大とライセンス及びセールスプロモーションビジネスではライセンス販売先の拡充に取り組んでおります。

上記の結果、売上高63,878千円（前年同期比24.5%減）、営業損失13,343千円（前年同期は526千円の営業損失）となりました。

#### (パッケージソフトウェア事業)

パッケージソフトウェア事業におきましては、定番化を目指す「Enjoy Diet!」シリーズの新作として「ビリーズブートキャンプWiiでエンジョイダイエット!」をWii向けタイトルとして発売しました。また、今年発売となった携帯型ゲーム機「ニンテンドー3DS」向けタイトルの開発を進めております。

上記の結果、売上高213,694千円（前年同期比53.8%減）、営業利益28,622千円（前年同期比87.4%減）となりました。

#### (投資教育事業)

投資教育事業におきましては、事業開始からテストを繰り返してきた投資信託提案支援システムの銀行及び証券会社等の販売会社への営業展開と当該システムの導入先の拡大に備えたファンドデータの充実を図っております。

なお、当第1四半期連結累計期間より売上高が計上されております。その結果、売上高10,276千円、営業損失24,117千円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して343,994千円減少した8,213,959千円となりました。その主な要因は、現金及び預金が256,489千円の減少となったことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して312,893千円減少した667,193千円となりました。その主な要因は、未払法人税等が183,365千円の減少となったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して31,101千円減少した7,546,765千円となりました。その主な要因は、四半期純利益の影響により利益剰余金が101,594千円増加したものの、剰余金の配当により利益剰余金が116,177千円の減少となったことに加え、自己株式の取得により17,573千円の増加となったことによるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績見通しは、平成23年5月11日付の決算短信で公表した数値からの変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,228,206	5,971,717
受取手形及び売掛金	967,629	929,620
商品及び製品	15,617	15,744
仕掛品	939	1,598
原材料及び貯蔵品	8	6
その他	131,017	81,042
貸倒引当金	△23,139	△30,654
流動資産合計	7,320,280	6,969,074
固定資産		
有形固定資産	130,916	123,528
無形固定資産	28,638	41,319
投資その他の資産		
投資有価証券	659,974	667,718
その他	456,304	448,677
貸倒引当金	△38,159	△36,359
投資その他の資産合計	1,078,119	1,080,036
固定資産合計	1,237,674	1,244,885
資産合計	8,557,954	8,213,959
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,492	25,724
営業未払金	452,842	376,188
未払法人税等	214,420	31,054
賞与引当金	—	4,250
その他	287,702	222,472
流動負債合計	971,457	659,690
固定負債	8,629	7,503
負債合計	980,087	667,193
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,669,000	2,669,000
資本剰余金	2,466,023	2,466,023
利益剰余金	3,050,607	3,036,024
自己株式	△582,500	△600,073
株主資本合計	7,603,130	7,570,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27,707	△27,029
その他の包括利益累計額合計	△27,707	△27,029
新株予約権	2,444	2,821
純資産合計	7,577,867	7,546,765
負債純資産合計	8,557,954	8,213,959

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,487,379	1,060,222
売上原価	630,886	503,796
売上総利益	856,492	556,426
販売費及び一般管理費	404,565	412,096
営業利益	451,927	144,330
営業外収益		
受取配当金	100	3,650
投資事業組合運用益	—	4,201
貸倒引当金戻入額	1,800	1,800
その他	133	272
営業外収益合計	2,033	9,923
営業外費用		
投資事業組合運用損	557	—
為替差損	10,599	7,920
持分法による投資損失	9,773	555
その他	0	623
営業外費用合計	20,931	9,100
経常利益	433,029	145,153
特別利益		
投資有価証券売却益	114,414	—
特別利益合計	114,414	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,490	—
特別損失合計	5,490	—
税金等調整前四半期純利益	541,953	145,153
法人税、住民税及び事業税	167,978	25,295
法人税等調整額	75,662	18,263
法人税等合計	243,641	43,559
少数株主損益調整前四半期純利益	298,312	101,594
四半期純利益	298,312	101,594

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	298,312	101,594
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,077	678
その他の包括利益合計	△23,077	678
四半期包括利益	275,235	102,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	275,235	102,272
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	モバイル コンテンツ 事業 (千円)	モバイル コマース 事業 (千円)	パッケージ ソフト ウェア事業 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	941,302	84,185	461,890	1,487,379	—	1,487,379
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,500	384	279	5,163	(5,163)	—
計	945,802	84,569	462,170	1,492,543	(5,163)	1,487,379
セグメント利益 (又は損失)	357,636	(526)	226,933	584,043	(132,116)	451,927

(注) 1. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去△3,396千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△128,720千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益(又は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	モバイル コンテンツ 事業 (千円)	モバイル コマース 事業 (千円)	パッケージ ソフト ウェア事業 (千円)	投資教育 事業 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
売上高							
外部顧客への 売上高	772,517	63,878	213,550	10,276	1,060,222	—	1,060,222
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	143	—	143	(143)	—
計	772,517	63,878	213,694	10,276	1,060,366	(143)	1,060,222
セグメント利益 (又は損失)	235,883	(13,343)	28,622	(24,117)	227,045	(82,715)	144,330

(注) 1. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去329千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△83,044千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益(又は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当第1四半期連結累計期間より、投資教育事業の収益化が見込まれるため「投資教育事業」セグメントを新設しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

[自己株式の取得]

当社は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため、平成23年7月29日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。

- |               |                                 |
|---------------|---------------------------------|
| (1) 取得の方法     | 市場買付                            |
| (2) 取得する株式の種類 | 当社普通株式                          |
| (3) 取得する株式の総数 | 70,000株（上限）（発行済株式総数に対する割合0.73%） |
| (4) 株式取得価額の総額 | 40,000千円（上限）                    |
| (5) 株式取得の日程   | 平成23年8月1日～平成23年9月20日            |